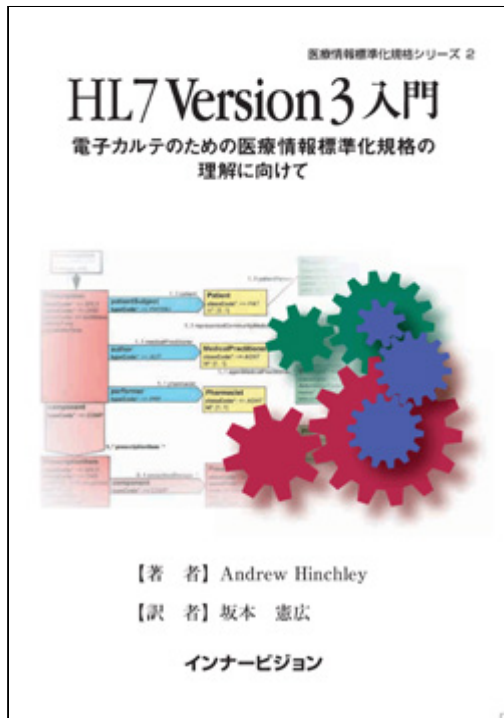


# 「HL7 Version3入門」発刊(2003年11月)

## 電子カルテのための医療情報標準化規格の理解に向けて



保健医療分野の標準化規格であるHL7 V3の日本語版入門書がついに完成。日本語版HL7 V2シリーズ解説書『HL7:医療情報標準化規格—その概略—』(木村通男訳)に続く第二弾として、英国HL7協会のメンバーによって書かれた解説書を世界で初めてV3の実装に成功した坂本憲広・神戸大学教授が翻訳。電子カルテ、あるいはポストゲノム時代の電子カルテである「ゲノムカルテ」にも不可欠なHL7 V3を理解するための必読書です。

(インナービジョン社広告原稿より)

### 【著者】

Andrew Hinchley HL7 UK

### 【訳者】

坂本 憲広 神戸大学医学部附属病院医療情報部教授  
日本HL7協会運営会議委員、技術委員会委員

【定価】 2000円(税別)〈送料150円〉

### 【発行】インナービジョン社

〒113-0034 東京都文京区本郷3-15-1

TEL 03-3818-3502 FAX 03-3818-3522

E-mail [info@innervision.co.jp](mailto:info@innervision.co.jp)

URL <http://www.innervision.co.jp>

※お求めは直接インナービジョン社様にTEL,FAX,Mail, ホームページ上の申し込みフォームでご注文下さい。税・送料込2250円で入手できます。

※日本HL7協会では本書を限定300冊で会員の皆様に特別価格1500円(送料無料で頒布します。ご希望の方はFaxで事務局までご注文下さい。入金確認後、発送します。詳しくはご案内([Word版](#)、[PDF版](#))をご覧ください。

### 【参考:目次構成】

#### 第1章はじめに(Introduction)

- 1.1 本書は何について書かれているか
- 1.2 本書は誰を対象として書かれているか
- 1.3 本書は何を扱っていないか
- 1.4 本書の利用の仕方

#### 第2章背景(Background)

- 2.1 HL7 の組織
- 2.2 HL7 の対象範囲
- 2.3 HL7 V2 の成功
- 2.4 HL7 V3 の必要性
- 2.5 HL7 V3 の優位点

#### 第3章V3方法論の主要概念

(The Key Concepts of the V3 Methodology)

## 第4章ストーリーボード (Storyboards)

## 第5章アプリケーションロール (Application Roles)

### 5.1 トリガイベント

## 第6章HL7 V3 メッセージの作成

### － V3 モデリング手法－

(Making HL7 V3 Messages – the V3 Modelling Approach –)

#### 6.1 参照情報モデル (RIM)

##### 6.1.1 クラス (Classes)

##### 6.1.2 関連 (Associations)

##### 6.1.3 D-MIM と R-MIM におけるモデル表現

#### 6.2 制約と詳細化

## 第7章R-MIM と D-MIM (R-MIMs and D-MIMs)

### 7.1 詳細化メッセージ情報モデル (R-MIM) の例

### 7.2 R-MIM 例におけるクラス

#### 7.2.1 Act (行為)

#### 7.2.2 Entity (実体)

#### 7.2.3 Role (役割)

#### 7.2.4 Participation (参加)

#### 7.2.5 ActRelationship (行為間関係)

#### 7.2.6 非中核クラス (Non-core classes)

## 第8章R-MIM および D-MIM のさらなる詳細

(More R-MIM and D-MIM Details)

### 8.1 エントリポイント (Entry Point)

### 8.2 クローンクラス (Cloned Classes)

### 8.3 選択 (Choice)

### 8.4 成果物の識別 (Identifying Artifacts)

## 第9章属性 (Attributes)

### 9.1 属性規則

### 9.2 構造的属性

### 9.3 よく用いられる属性

## 第10章ボキャブラリ (Vocabularies)

### 10.1 概説

### 10.2 HL7 ボキャブラリ表

### 10.3 拡張性

## 第11章 CMET : 共通メッセージ要素型

(CMETs-Common Message Element Types)

## 第12章データ型 (Data Types)

### 12.1 コード化データ型 (Coded Data Type)

### 12.2 その他の基本データ型

### 12.3 数と測定値

### 12.4 名前とアドレス

### 12.5 時間

### 12.6 汎用コレクション

## 第13章階層型メッセージ記述

(HMDs – Hierarchical Message Descriptions)

### 13.1 HMD グリッド

## 第14章実装技術仕様

(ITS – Implementation Technology Specification)  
14.1 XML ITS

第15章 制約と詳細化 (Constraints and Refinement)

- 15.1 クローン化
- 15.2 ボキャブラリ制約
- 15.3 属性の出現の詳細化
- 15.4 データ型の詳細化
- 15.5 CMET 制約
- 15.6 明示的に宣言された制約

第16章 ローカル化 (Localization)

第17章 メッセージラッパー (Message Wrappers)

第18章 ツール (Tooling)

- 18.1 Visio (HL7 テンプレート付)
- 18.2 RoseTree
- 18.3 公表用ツール

第19章 参考文献および参考書

(References and Further Reading)

第20章 用語集 (Glossary)